

思考を可視化 方法学ふ

会議などで記憶や情報を可視化して共有する記録法「グラフィックレコーディング（グラレコ）」の体験講座が15日、松山市文京町の愛媛大であり、県内の小学5年・中学3年生42人が、思考を絵や文字などで表現する手法を学んだ。

愛媛大でグラレコ講座



小中学生が記憶や情報を可視化する技術を学んだ
体験講座

小中学生 絵や文字で表現・伝達

科学技術振興機構（埼玉県）と全国の大学などによるジュニアドクター育成事業の一環。

ディール・エヌ・イー（DEN A）の社員でグラレコの普及に努める和波里翠さん（29）が講師を担当。「思考を整理して分かりやすく伝えることができる」となどとメリットを説明し、行政のワークショップなどでも活用されていると紹介した。

参加者は「理想の未来の学校」をテーマに仲間のアイデアを絵で描くなどし、グラレコに必要な表現力を磨いた。愛媛大教育学部附属中2年の吉田陽南さん（14）は「絵を使うと対話だけよりも表現の幅が広がり、コミュニケーションツールとして面白い」と話した。

（桑原大輔）

読もう！

